

2022年8月15日

各位

会社名：ウインテスト株式会社  
(コード：6721 東証スタンダード市場)  
代表者名：代表取締役社長 姜 輝  
問合せ先：専務取締役 樋口 真康  
(TEL：045-317-7888)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年2月15日に公表いたしました2022年12月期累計期間(2022年1月1日～2022年12月31日)の業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### (1) 2022年12月期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 2,000	百万円 205	百万円 204	百万円 204	円 銭 6.20
今回修正予想(B)	620	△540	△514	△514	△15.17
増減額(B-A)	△1,380	△745	△718	△718	
増減率(%)	△69.0	—	—	—	
前期実績(参考)	307	△730	△668	△629	△19.04

#### (2) 修正の理由

当社の通期連結業績予想につきましては、半導体検査装置事業の改善は進みつつあり、また受注残は694百万円ある状況ですが、冬季北京オリンピック後からの新型コロナウイルスの感染爆発が急速に進んだことから、2022年2月15日の通期予想の発表時点では想定していなかった、中国各地でのロックダウンによる都市封鎖の影響を、当社顧客工場も色濃く受け、また当社検査装置と同時に設置される周辺機器の出荷や通関の遅れも重なり、当社検査装置の出荷、納品にも予期せぬ時間を要することとなり、受注済み製品の出荷、売上の一部194百万円は、来期にずれ込むこととなりました。7月から8月にかけて都市封鎖も順次解除され、また渡航に伴う隔離期間もこれまでの4週間から10日へと短縮されつつありビジネス環境も封鎖前に戻りつつありますが、市場ではロックダウンによる需要減退と深刻化するウクライナ情勢が市場に与える影響など不透明な部分もあり、当連結会計年度の受注・売上高見通しについて、予定を下回ることとなりました。このような理由から顧客と今後の出荷並びに売上予定に関し協議調整を行っておりますが、当初の通期業績予想は、達成困難であると考え、2022年2月15日に公表いたしました、2022年12月度連結業績予想を変更することといたしました。

しかし、上述受注済み分の製造は終了しており且つ、新規受注発生時の製品製造分350百万円がある状況であり、現状、営業の状況も改善しつつあります。今後、年度末に向けて上記今期の修正業績予測を上回るよう出荷、売上の計上に取り組んでまいります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上